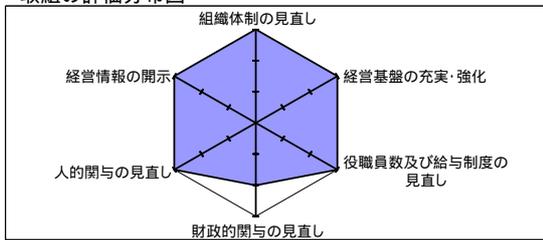


出資法人及び県所管課による評価(1次評価)

取組の評価分布図



個別取組項目の評価総括表

取組み項目	取組の目標達成の評価
組織体制の見直し	十分達成している
経営基盤の充実・強化	十分達成している
役職員数及び給与制度の見直し	十分達成している
財政的関与の見直し	ある程度達成している。
人的関与の見直し	十分達成している
経営情報の開示	十分達成している

1 出資法人の自主性・自律性の向上に向けた取組

(1) 組織体制の見直し

【評価: 十分達成している】

平成16年度から実施の県農業会議との兼任体制を強化し、農地保有合理化事業を中心に事業機能の強化に努めている。
【20年度2次評価に対する対応】

(2) 経営基盤の充実・強化

【評価: 十分達成している】

農業を取り巻く環境は厳しいもの前項の体制強化と相まって事業の効率化や収支の改善等経営基盤の強化に努めている。

【20年度2次評価に対する対応】

農地保有コストについては、新たな買入分は必要な資金を全額無利子で融資を受けることができるようになり、今後確実に減少が見込まれる。また、農地の保有期間は、公社買入時に将来の購入予定者と相談の上決定しており、売渡は計画どおりに行うことが原則であるが、購入予定者の意向を踏まえつつ、可能な限り保有期間を短縮し、コストの縮減に努めていきたい。

また、新規就業者数を取組指標として設定し、公社事業の活用推進を図り、新規就業者の確保育成に努めていきたい。

(3) 役職員数及び給与制度の見直し

【評価: 十分達成している】

受入出向・兼務体制等多面的な人的体制をはかるとともに人件費の節減につとめている。

【20年度2次評価に対する対応】

職員の兼務による双方業務推進に支障をきたさないよう日常的な業務遂行及び体制に弾力性をもたせ、また、業務基盤に脆弱化をきたさぬよう機動的な事業展開を図っていきたい。

2 県の関与の適正化に向けた取組

(1) 財政的関与の見直し

【評価: ある程度達成している。】

厳しい状況下での事業補助金の更なる削減は必至であり、事業の効率化・経費の節減等に財政依存度の低下に努力を傾注している

【20年度2次評価に対する対応】

経費の節減には積極的に努め、効率的な運営を図っていくとともに、公益財団法人への移行に合わせて事業の見直しを行い、その際、市町、関係団体等との役割分担についても検討していきたい。

(2) 人的関与の見直し

【評価: 十分達成している】

事業機能の高度化等に対処するため、県職員各1名の派遣及び兼務により県行政の支援や事業の円滑化に努めている。

公社の自助努力下で少数精鋭体制を堅持する一方、兼務・派遣の支援等により、効率的な事業展開に努めていきたい。

【20年度2次評価に対する対応】

3 経営情報等の積極的な開示に向けた取組

【評価: 十分達成している】

ホームページ等で内容等の開示を十分行っている。

経営情報の提供については現状を堅持したい。

【20年度2次評価に対する対応】

4 総合的評価

公社の経営については事業の見直し等経営基盤の強化に努めるとともに関係機関との連携を更に緊密化し、効率的な事業運営に努めていく一方、公益財団法人移行にあたり事業、組織の在り方を検討していく。